

公共事業新規実施予定箇所

事業名	路線名	市町村名	字名等	事業概要	事業費(千円)
県単交通安全施設整備	(一) 下田南伊豆線	下田市	大賀茂	歩道整備	75,000
県単交通安全施設整備	(一) 須走小山線	小山町	用沢	歩道整備	180,000
県単交通安全施設整備	(主) 修善寺戸田線	沼津市	戸田	歩道整備	25,000
県単交通安全施設整備	(主) 富士富士宮由比線	富士市	比奈	交差点改良	80,000
県単交通安全施設整備	(一) 吉永吉原停車場線	富士市	鈴川	歩道整備	100,000
県単交通安全施設整備	(国) 135号	伊東市	泉頭元和田	交差点改良工	100,000
県単交通安全施設整備	(国) 135号	伊東市	富戸	歩道整備	10,000
県単交通安全施設整備	(国) 135号	熱海市	網代	歩道改良	7,000
県単交通安全施設整備	(国) 301号	湖西市	中之郷	歩道整備	200,000
県単災害防除	(一) 南伊豆松崎線	松崎町	岩科南側	法面对策	10,000
県単災害防除	(主) 伊東西伊豆線	西伊豆町	大沢里	法面对策	46,000
県単災害防除	(主) 伊東修善寺線	伊東市	鎌田	法面对策	8,000
県単災害防除	(一) 接阻峡線	川根本町	犬間	法面对策	29,000
県単道路改築	(一) 富士富士宮線	富士宮市	猪之頭	道路拡幅工	55,000
県単道路改築	(主) 掛川天竜線	磐田市	上野部	道路拡幅工	42,000
県単道路改築	(一) 湯ヶ野松崎線	松崎町	池代	道路拡幅工	115,000
県単道路改築	(一) 足柄停車場富士公園線	小山町	竹之下	道路拡幅工	200,000
県単道路改築	(一) 伊東川奈八幡野線	伊東市	富戸	道路拡幅工	35,000

各事業箇所の概要等は別紙3のとおり

事業名：県単交通安全施設整備

路線名：一般県道下田南伊豆線（下田市大賀茂）

1 事業概要

全体事業費：	75百万円
計画期間：	令和2年度～6年度
計画概要：	歩道整備

2 目的・必要性

<p>本事業は、一般県道下田南伊豆線（下田市大賀茂）における歩道整備である。当該区間は、大賀茂小学校の通学経路に設定されているが、狭い路肩を通過せざるをえない状況となっている。このため、歩道を整備し、歩行者の安全向上を図る。</p>
--

3 評価

視点	評価項目	評価指標	評価
必要性	災害に強く信頼性の高いみちづくり	通学路、交通量	3 A
	安全な生活を実現するみちづくり		
	多様な交流や経済活動を支えるみちづくり		
	地域の生活と自立を支援するみちづくり		
	美しい景観と潤いある環境を確保するみちづくり		
重要性	既存計画への位置付け		
緊急性	速やかな事業着手の必要性	通学路合同点検	1 S
効率性	費用対効果・事業規模の妥当性	歩道の連続性	2 A
熟度	事業の熟度（執行の環境）	地元要望	1 A
計			1 S 6 A

※ A評価（通常評価）：効率性、必要性、熟度の視点について、客観的指標等により評価するもの

※ S評価（優先度評価）：既存計画等に位置付けられた「重要性の高い箇所」や、速やかに事業着手する必要がある「緊急性の高い箇所」を、優先度が高いと判断し評価するもの
（橋梁耐震対策事業、橋梁補修事業は○による）

事業名：県単交通安全施設整備

路線名：一般県道須走小山線（小山町用沢）

1 事業概要

全体事業費：	180百万円
計画期間：	令和2年度～6年度
計画概要：	歩道整備

2 目的・必要性

<p>本事業は、一般県道須走小山線（小山町用沢）における歩道整備である。当該区間は、北郷小学校の通学経路として利用される区間であるが、歩道が未整備であるため、歩行者の安全確保が課題である。このため、歩道を整備し、児童をはじめとする歩行者の安全確保を図る。</p>

3 評価

視点	評価項目	評価指標	評価
必要性	災害に強く信頼性の高いみちづくり	通学路、交通量	4 A
	安全な生活を実現するみちづくり		
	多様な交流や経済活動を支えるみちづくり		
	地域の生活と自立を支援するみちづくり		
	美しい景観と潤いある環境を確保するみちづくり		
重要性	既存計画への位置付け		
緊急性	速やかな事業着手の必要性		
効率性	費用対効果・事業規模の妥当性	歩道の連続性	2 A
熟度	事業の熟度（執行の環境）	用地補償見込み、地元要望	2 A
計			8 A

※ A評価（通常評価）：効率性、必要性、熟度の視点について、客観的指標等により評価するもの

※ S評価（優先度評価）：既存計画等に位置付けられた「重要性の高い箇所」や、速やかに事業着手する必要がある「緊急性の高い箇所」を、優先度が高いと判断し評価するもの
（橋梁耐震対策事業、橋梁補修事業は○による）

事業名：県単交通安全施設整備

路線名：主要地方道修善寺戸田線（沼津市戸田）

1 事業概要

全体事業費：	25百万円
計画期間：	令和2年度～3年度
計画概要：	歩道整備

2 目的・必要性

<p>本事業は、主要地方道修善寺戸田線（沼津市戸田）における歩道整備である。当該区間は、戸田小学校の通学経路として利用されている区間であるが、見通しが悪い道路にもかかわらず歩道が未整備なため危険性がある。このため、歩道を整備し、歩行者の安全確保を図る。</p>
--

3 評価

視点	評価項目	評価指標	評価
必要性	災害に強く信頼性の高いみちづくり	通学路、交通量	5 A
	安全な生活を実現するみちづくり		
	多様な交流や経済活動を支えるみちづくり		
	地域の生活と自立を支援するみちづくり		
	美しい景観と潤いある環境を確保するみちづくり		
重要性	既存計画への位置付け		
緊急性	速やかな事業着手の必要性		
効率性	費用対効果・事業規模の妥当性	事業期間	1 A
熟度	事業の熟度（執行の環境）	用地補償見込み、地元要望	2 A
計			8 A

※ A評価（通常評価）：効率性、必要性、熟度の視点について、客観的指標等により評価するもの

※ S評価（優先度評価）：既存計画等に位置付けられた「重要性の高い箇所」や、速やかに事業着手する必要がある「緊急性の高い箇所」を、優先度が高いと判断し評価するもの
（橋梁耐震対策事業、橋梁補修事業は○による）

事業名：県単交通安全施設整備

路線名：主要地方道富士富士宮由比線（富士市比奈）

1 事業概要

全体事業費：	80百万円
計画期間：	令和2年度～4年度
計画概要：	交差点改良

2 目的・必要性

本事業は、主要地方道富士富士宮由比線（富士市比奈）における交差点改良である。主要地方道三島富士線と交差する当交差点は変則形状になっていることから、事故が多く車両の安全な通行に課題がある。このため、交差点を改良することで、安全性向上を図る。

3 評価

視点	評価項目	評価指標	評価
必要性	災害に強く信頼性の高いみちづくり	通学路、交通量	7 A
	安全な生活を実現するみちづくり		
	多様な交流や経済活動を支えるみちづくり		
	地域の生活と自立を支援するみちづくり		
	美しい景観と潤いある環境を確保するみちづくり		
重要性	既存計画への位置付け		
緊急性	速やかな事業着手の必要性		
効率性	費用対効果・事業規模の妥当性	事業期間	1 A
熟度	事業の熟度（執行の環境）	用地補償見込み、地元要望	2 A
計			1 0 A

※ A評価（通常評価）：効率性、必要性、熟度の視点について、客観的指標等により評価するもの

※ S評価（優先度評価）：既存計画等に位置付けられた「重要性の高い箇所」や、速やかに事業着手する必要がある「緊急性の高い箇所」を、優先度が高いと判断し評価するもの
（橋梁耐震対策事業、橋梁補修事業は○による）

事業名：県単交通安全施設整備

路線名：一般県道吉永吉原停車場線（富士市鈴川）

1 事業概要

全体事業費：	100百万円
計画期間：	令和2年度～5年度
計画概要：	歩道整備

2 目的・必要性

<p>本事業は、一般県道吉永吉原停車場線（富士市鈴川）における歩道整備である。当該区間は、通勤、通学でJR吉原駅を利用する住民が利用しているが、歩道が未整備なため車両との接触事故が懸念される。このため、歩道を整備し、安全な道路空間の確保を図る。</p>
--

3 評価

視点	評価項目	評価指標	評価
必要性	災害に強く信頼性の高いみちづくり	交通量	3 A
	安全な生活を実現するみちづくり		
	多様な交流や経済活動を支えるみちづくり		
	地域の生活と自立を支援するみちづくり		
	美しい景観と潤いある環境を確保するみちづくり		
重要性	既存計画への位置付け		
緊急性	速やかな事業着手の必要性		
効率性	費用対効果・事業規模の妥当性	歩道の連続性	2 A
熟度	事業の熟度（執行の環境）	地元要望	1 A
計			6 A

※ A評価（通常評価）：効率性、必要性、熟度の視点について、客観的指標等により評価するもの

※ S評価（優先度評価）：既存計画等に位置付けられた「重要性の高い箇所」や、速やかに事業着手する必要がある「緊急性の高い箇所」を、優先度が高いと判断し評価するもの
（橋梁耐震対策事業、橋梁補修事業は○による）

事業名：県単交通安全施設整備

路線名：一般国道 135 号（伊東市玖須美元和田）

1 事業概要

全体事業費：	100 百万円
計画期間：	令和 2 年度～令和 5 年度
計画概要：	交差点改良工 L = 150 m

2 目的・必要性

本事業は、一般国道 135 号（伊東市玖須美元和田）における交差点改良事業である。当該区間は、自動車交通量が約 12,800 台/12h を超えているが、右折レーンが設置されていないことから、慢性的な交通渋滞が発生している。このため、右折レーンの設置を行い、交通渋滞の解消を図る。

3 評価

視点	評価項目		評価指標	評価
必要性	「ふじのくにの“みちづくり”」に掲げる施策との整合	安全な生活を実現するみちづくり	市立東小学校通学路 過去 4 年間の死傷事故率：132.2 件/億台キロ 歩行者交通量：279 人/日 自動車交通量：17,291 台/日	7 A
		美しい景観と潤いある環境を確保するみちづくり		
重要性	既存計画への位置付け		H30 通学路合同点検	1 S
緊急性	速やかな事業着手の必要性		R1 事業着手検討会議	1 S
効率性	事業規模の妥当性		歩車道分離が可能かつ歩行空間の連続性が確保可能	2 A
熟度	事業の熟度（執行の環境）		全地権者の同意あり	4 A

※ A 評価（通常評価）：効率性、必要性、熟度の視点について、客観的指標等により評価するもの

※ S 評価（優先度評価）：既存計画等に位置付けられた「重要性の高い箇所」や、速やかに事業着手する必要がある「緊急性の高い箇所」を、優先度が高いと判断し評価するもの
（橋梁耐震対策事業、橋梁補修事業は○による）

事業名：県単交通安全施設整備

路線名：一般国道 1 3 5 号（伊東市富戸）

1 事業概要

全体事業費：	1 0 百万円
計画期間：	令和 2 年度
計画概要：	歩道整備工 L = 3 0 m

2 目的・必要性

<p>本事業は一般国道 1 3 5 号（伊東市富戸）における歩道整備事業である。</p> <p>前後区間は、歩道が整備されているため、当該区間のみ狭い路肩を通行せざるを得ない状況となっている。このため、歩道を整備し、歩行者の安全性向上を図る。</p>

3 評価

視点	評価項目		評価指標	評価
必要性	「ふじのくにの“みちづくり”」に掲げる施策との整合	安全な生活を実現するみちづくり	過去 4 年間の死傷事故率：79.5 件/億台キロ 歩行者交通量：624 人/日 自動車交通量：21,728 台/日	5 A
		美しい景観と潤いある環境を確保するみちづくり		
重要性	既存計画への位置付け			
緊急性	速やかな事業着手の必要性			
効率性	事業規模の妥当性		単年度で事業完了 歩行空間の連続性が確保可能	3 A
熟度	事業の熟度（執行の環境）		用地補償が不要	3 A
計				

※ A 評価（通常評価）：効率性、必要性、熟度の視点について、客観的指標等により評価するもの

※ S 評価（優先度評価）：既存計画等に位置付けられた「重要性の高い箇所」や、速やかに事業着手する必要がある「緊急性の高い箇所」を、優先度が高いと判断し評価するもの
（橋梁耐震対策事業、橋梁補修事業は○による）

事業名：県単交通安全施設整備

路線名：一般国道 135 号（熱海市網代）

1 事業概要

全体事業費：	7 百万円
計画期間：	令和 2 年度
計画概要：	歩道改良工 L = 200 m

2 目的・必要性

<p>本事業は、国道 135 号（熱海市網代）における歩行空間整備である。網代小学校の通学区域であるが、歩道が狭く、歩行者の安全性確保が課題である。このため、側溝改良に伴う安全な歩行空間を整備し、歩行者の安全対策を図るものである。</p>

3 評価

視点	評価項目		評価指標	評価
必要性	「ふじのくにの“みちづくり”」に掲げる施策との整合	全な生活を実現するみちづくり	過去 4 年間の死傷事故率：119.3 件/億台キロ 歩行者交通量：298 人/12h 自動車交通量：13,044 台/日	7 A
		しい景観と潤いある環境を確保するみちづくり		
重要性	既存計画への位置付け			
緊急性	速やかな事業着手の必要性			
効率性	事業規模の妥当性		歩行空間の連続性が確保可能	3 A
熟度	事業の熟度（執行の環境）		用地補償が不要	3 A
計				

※ A 評価（通常評価）：効率性、必要性、熟度の視点について、客観的指標等により評価するもの

※ S 評価（優先度評価）：既存計画等に位置付けられた「重要性の高い箇所」や、速やかに事業着手する必要がある「緊急性の高い箇所」を、優先度が高いと判断し評価するもの
（橋梁耐震対策事業、橋梁補修事業は○による）

事業名：県単交通安全施設整備

路線名：一般国道 301 号（湖西市新居町中之郷）

1 事業概要

全体事業費：	200 百万円
計画期間：	令和 2 年度～令和 5 年度
計画概要：	歩道整備工 L = 170 m

2 目的・必要性

本区間は、新居小学校の通学路、新居中学校の通学ルートでありながら歩道が片側しか整備されていない。区間内には、商業施設や娯楽施設もあり、通学する児童・生徒をはじめ、商業施設等を利用する高齢者等の地域住民と車両が近接し大変危険な状況となっている。

そのため、児童・生徒や高齢者等が安心して利用できる歩行空間を確保するため、歩道整備を実施する。

3 評価

視点	評価項目		評価指標	評価
必要性	「ふじのくにの“みちづくり”」に掲げる施策との整合	安全な生活を実現するみちづくり	市立新居小学校通学路 過去 4 年間の死傷事故率：28.7 件/億台キロ 歩行者交通量：66 人/12h 自動車交通量：13,980 台/12h	6 A
		美しい景観と潤いある環境を確保するみちづくり		
重要性	既存計画への位置付け		H30 通学路合同点検	1 S
緊急性	速やかな事業着手の必要性		R1 事業着手検討会議	1 S
効率性	事業規模の妥当性		歩車道分離が可能かつ歩行空間の連続性が確保可能	2 A
熟度	事業の熟度（執行の環境）		全地権者の同意あり	4 A
計				

※ A 評価（通常評価）：効率性、必要性、熟度の視点について、客観的指標等により評価するもの

※ S 評価（優先度評価）：既存計画等に位置付けられた「重要性の高い箇所」や、速やかに事業着手する必要がある「緊急性の高い箇所」を、優先度が高いと判断し評価するもの
（橋梁耐震対策事業、橋梁補修事業は○による）

事業名：県単災害防除

路線名：一般県道南伊豆松崎線（松崎町岩科南側）

1 事業概要

全体事業費：	10百万円
計画期間：	令和2年度
計画概要：	法面对策 L = 22.3m

2 目的・必要性

<p>本事業は、(一) 南伊豆松崎線の松崎町岩科南側において、道路下法面が風化し非常に不安定な状況であることから、法面对策工を実施するものである。</p>

3 評価

視点	評価項目	評価指標	評価
必要性	「ふじのくにの“みちづくり”」に掲げる施策との整合	災害に強く信頼性の高いみちづくり	4A
		緊急輸送路、事前通行規制区間、H8 道路防災点検箇所、迂回路、落石・崩土等の発生履歴、道路施設の変状、社会的影響	
		安全な生活を実現するみちづくり	
		多様な交流や経済活動を支えるみちづくり	
		地域の生活と自立を支援するみちづくり	
	美しい景観と潤いある環境を確保するみちづくり		
重要性	既存計画への位置付け	緊急輸送路上の事前通行規制区間にある H8 防災点検の要対策箇所に該当	
緊急性	速やかな事業着手の必要性	社会的影響が大きい路線で、交通障害の履歴又は施設の変状があり、被災時に適当な迂回路がない。	
効率性	費用対効果・事業規模の妥当性		
熟度	事業の熟度（執行の環境）	用地補償の見込み	2A
計			6A

※ A 評価（通常評価）：効率性、必要性、熟度の視点について、客観的指標等により評価するもの

※ S 評価（優先度評価）：既存計画等に位置付けられた「重要性の高い箇所」や、速やかに事業着手する必要がある「緊急性の高い箇所」を、優先度が高いと判断し評価するもの
（橋梁耐震対策事業、橋梁補修事業は○による）

事業名：県単災害防除

路線名：主要地方道伊東西伊豆線（西伊豆町大沢里）

1 事業概要

全体事業費：	46百万円
計画期間：	令和2年度～令和3年度
計画概要：	法面对策工 L=50.0m

2 目的・必要性

<p>本事業は、(主)伊東西伊豆線の西伊豆町大沢里において、道路斜面上に風化岩が露頭しており、浮石が多数見られることから、法面对策工を実施するものである。</p>

3 評価

視点	評価項目	評価指標	評価
必要性	災害に強く信頼性の高いみちづくり	緊急輸送路、事前通行規制区間、H8道路防災点検箇所、迂回路、落石・崩土等の発生履歴、道路施設の変状、社会的影響	1A
	安全な生活を実現するみちづくり		
	多様な交流や経済活動を支えるみちづくり		
	地域の生活と自立を支援するみちづくり		
	美しい景観と潤いある環境を確保するみちづくり		
重要性	既存計画への位置付け	緊急輸送路上の事前通行規制区間にある H8 防災点検の要対策箇所に該当	
緊急性	速やかな事業着手の必要性	社会的影響が大きい路線で、交通障害の履歴又は施設の変状があり、被災時に適当な迂回路がない。	
効率性	費用対効果・事業規模の妥当性		
熟度	事業の熟度（執行の環境）	用地補償の見込み	2A
計			3A

※ A 評価（通常評価）：効率性、必要性、熟度の視点について、客観的指標等により評価するもの

※ S 評価（優先度評価）：既存計画等に位置付けられた「重要性の高い箇所」や、速やかに事業着手する必要がある「緊急性の高い箇所」を、優先度が高いと判断し評価するもの
（橋梁耐震対策事業、橋梁補修事業は○による）

事業名：県単災害防除

路線名：主要地方道伊東修善寺線（伊東市鎌田）

1 事業概要

全体事業費：	8 百万円
計画期間：	令和 2 年度
計画概要：	法面对策工 L = 14.0m

2 目的・必要性

<p>本事業は、(主) 伊東修善寺線の伊東市鎌田において、道路斜面上に風化岩が露頭しており、浮石が多数見られることから、法面对策工を実施するものである。</p>
--

3 評価

視点	評価項目	評価指標	評価
必要性	災害に強く信頼性の高いみちづくり	緊急輸送路、事前通行規制区間、H8 道路防災点検箇所、迂回路、落石・崩土等の発生履歴、道路施設の変状、社会的影響	4A
	安全な生活を実現するみちづくり		
	多様な交流や経済活動を支えるみちづくり		
	地域の生活と自立を支援するみちづくり		
	美しい景観と潤いある環境を確保するみちづくり		
重要性	既存計画への位置付け	緊急輸送路上の事前通行規制区間にある H8 防災点検の要対策箇所に該当	
緊急性	速やかな事業着手の必要性	社会的影響が大きい路線で、交通障害の履歴又は施設の変状があり、被災時に適当な迂回路がない。	
効率性	費用対効果・事業規模の妥当性		
熟度	事業の熟度（執行の環境）	用地補償の見込み	2A
計			6A

※ A 評価（通常評価）：効率性、必要性、熟度の視点について、客観的指標等により評価するもの

※ S 評価（優先度評価）：既存計画等に位置付けられた「重要性の高い箇所」や、速やかに事業着手する必要がある「緊急性の高い箇所」を、優先度が高いと判断し評価するもの
（橋梁耐震対策事業、橋梁補修事業は○による）

事業名：県単災害防除

路線名：一般県道接阻峡線（川根本町犬間）

1 事業概要

全体事業費：	29百万円
計画期間：	令和2年度
計画概要：	法面对策工 L=150.0m

2 目的・必要性

<p>本事業は、(一) 接阻峡線の榛原郡川根本町犬間において、道路斜面上に風化岩が露頭しており、浮石が多数見られることから、法面对策工を実施するものである。</p>
--

3 評価

視点	評価項目	評価指標	評価
必要性	災害に強く信頼性の高いみちづくり	緊急輸送路、事前通行規制区間、H8 道路防災点検箇所、迂回路、落石・崩土等の発生履歴、道路施設の変状、社会的影響	1A
	安全な生活を実現するみちづくり		
	多様な交流や経済活動を支えるみちづくり		
	地域の生活と自立を支援するみちづくり		
	美しい景観と潤いある環境を確保するみちづくり		
重要性	既存計画への位置付け	緊急輸送路上の事前通行規制区間にある H8 防災点検の要対策箇所に該当	
緊急性	速やかな事業着手の必要性	社会的影響が大きい路線で、交通障害の履歴又は施設の変状があり、被災時に適当な迂回路がない。	
効率性	費用対効果・事業規模の妥当性		
熟度	事業の熟度（執行の環境）	用地補償の見込み	2A
計			3A

※ A 評価（通常評価）：効率性、必要性、熟度の視点について、客観的指標等により評価するもの

※ S 評価（優先度評価）：既存計画等に位置付けられた「重要性の高い箇所」や、速やかに事業着手する必要がある「緊急性の高い箇所」を、優先度が高いと判断し評価するもの
（橋梁耐震対策事業、橋梁補修事業は○による）

事業名： 県単道路改築

路線名： 一般県道富士富士宮線（富士宮市猪之頭）

1 事業概要

全体事業費：	C = 5 5 百万円
計画期間：	令和 2 年度～令和 4 年度
計画概要：	道路拡幅工 L = 2 0 0 m

2 目的・必要性

一般県道富士富士宮線は、富士市街から朝霧高原方面へ至る一般県道であり、住民の生活道路として、また観光客にも利用されている路線である。本路線は小中学校の通学路として利用されており、バス路線であるなど住民の生活に密接に関わる路線であるが、当区間は幅員が狭隘であり、円滑な通行に支障をきたしている。

本事業は、延長 200m 区間の狭隘な個所を拡幅改良することにより、円滑な交通の確保を行うものである。

3 評価

視点	評価項目	評価指標	評価
必要性	災害に強く信頼性の高いみちづくり	—	—
	安全な生活を実現するみちづくり	通学路指定	A
	多様な交流や経済活動を支えるみちづくり	—	—
	地域の生活と自立を支援するみちづくり	バス路線、診療所アクセス	2 A
	美しい景観と潤いある環境を確保するみちづくり	—	—
重要性	既存計画への位置付け	—	—
緊急性	速やかな事業着手の必要性	—	—
効率性	費用対効果・事業規模の妥当性	概ね 3 年以内に事業完了 終点側整備済み	3 A
熟度	事業の熟度（執行の環境）	用地買収同意済 地区要望	3 A
計			9 A

※ A 評価（通常評価）：効率性、必要性、熟度の視点について、客観的指標等により評価するもの

※ S 評価（優先度評価）：既存計画等に位置付けられた「重要性の高い箇所」や、速やかに事業着手する必要がある「緊急性の高い箇所」を、優先度が高いと判断し評価するもの

事業名： 県単道路改築

路線名： 主要地方道掛川天竜線（磐田市上野部）

1 事業概要

全体事業費：	C = 4 2 百万円
計画期間：	令和 2 年度～令和 3 年度
計画概要：	道路拡幅工 L = 2 0 0 m

2 目的・必要性

主要地方道掛川天竜線は、掛川市街から浜松市へ至る主要地方道である。本路線は、住民の生活道路として、新東名高速道路の森掛川 IC や森スマート IC にも近く、第 2 次緊急輸送路として災害時にも重要な路線である。当該区間は、通学路として利用がある区間であるが、局所的に狭隘であり安全で円滑な通行に支障をきたしている。

本事業は、延長 80m 区間の狭隘な個所を拡幅改良することにより、車道及び路肩を構築し、円滑かつ安全な交通の確保を行うものである。

3 評価

視点	評価項目	評価指標	評価
必要性	災害に強く信頼性の高いみちづくり	第 2 次緊急輸送路	2 A
	安全な生活を実現するみちづくり	通学路指定	A
	多様な交流や経済活動を支えるみちづくり	—	—
	地域の生活と自立を支援するみちづくり	—	—
	美しい景観と潤いある環境を確保するみちづくり	—	—
重要性	既存計画への位置付け	—	—
緊急性	速やかな事業着手の必要性	—	—
効率性	費用対効果・事業規模の妥当性	概ね 3 年以内に事業完了 前後区間整備済み	3 A
熟度	事業の熟度（執行の環境）	用地買収不要 地区要望	3 A
計			9 A

※ A 評価（通常評価）：効率性、必要性、熟度の視点について、客観的指標等により評価するもの

※ S 評価（優先度評価）：既存計画等に位置付けられた「重要性の高い箇所」や、速やかに事業着手する必要がある「緊急性の高い箇所」を、優先度が高いと判断し評価するもの

事業名： 県単道路改築

路線名： 一般県道湯ヶ野松崎線（賀茂郡松崎町池代）

1 事業概要

全体事業費：	C = 1 1 5 百万円
計画期間：	令和2年度～令和5年度
計画概要：	道路拡幅工 L = 2 0 0 m

2 目的・必要性

一般県道湯ヶ野松崎線は河津町から松崎町に至る一般県道であり、住民の生活道路として利用されている路線である。本路線は東海バスの路線バスが通行するなど住民生活に密接に関わる路線であるが、現道幅員が4m未満の箇所があるなど日常の通行に支障をきたしている。

本事業は、狭隘な箇所を拡幅改良することにより円滑な交通の確保を行うとともに、被災に強い道路構造となり集落へのアクセスを確保ものである。

3 評価

視点	評価項目	評価指標	評価
必要性	災害に強く信頼性の高いみちづくり	孤立集落へのアクセス	1 A
	安全な生活を実現するみちづくり	—	—
	多様な交流や経済活動を支えるみちづくり	—	—
	地域の生活と自立を支援するみちづくり	最小幅員 4.0m未満、バス路線	2 A
	美しい景観と潤いある環境を確保するみちづくり	—	—
重要性	既存計画への位置付け	—	—
緊急性	速やかな事業着手の必要性	—	—
効率性	費用対効果・事業規模の妥当性	概ね5年以内に事業完了	2 A
熟度	事業の熟度（執行の環境）	計画的に用地補償が可能 地元 PI を実施	2 A
計			7 A

※ A 評価（通常評価）：効率性、必要性、熟度の視点について、客観的指標等により評価するもの

※ S 評価（優先度評価）：既存計画等に位置付けられた「重要性の高い箇所」や、速やかに事業着手する必要がある「緊急性の高い箇所」を、優先度が高いと判断し評価するもの

事業名： 県単道路改築

路線名： 一般県道足柄停車場富士公園線（駿東郡小山町竹之下）

1 事業概要

全体事業費：	C = 200 百万円
計画期間：	令和2年度～令和5年度
計画概要：	道路拡幅工 L = 250 m

2 目的・必要性

一般県道足柄停車場富士公園線は、JR 御殿場線足柄駅から富士山に至る一般県道であり、住民の生活道路として、また富士山を訪れる観光客に利用されている路線である。本路線は通学路として利用されており、バス路線であるなど住民の生活に密接に関わる路線であるが、当区間は線形が悪く現道幅員が狭隘であるなど、円滑な通行に支障をきたしている。

本事業は、延長 250m 区間の狭隘な個所を拡幅改良することによりボトルネックが解消し、円滑な交通の確保を行うものである。

3 評価

視点	評価項目	評価指標	評価
必要性	災害に強く信頼性の高いみちづくり	—	—
	安全な生活を実現するみちづくり	通学路指定	A
	多様な交流や経済活動を支えるみちづくり	—	—
	地域の生活と自立を支援するみちづくり	線形不適合、バス路線	2 A
	美しい景観と潤いある環境を確保するみちづくり	—	—
重要性	既存計画への位置付け	—	—
緊急性	速やかな事業着手の必要性	—	—
効率性	費用対効果・事業規模の妥当性	概ね5年以内に事業完了 前後区間が整備済み	2 A
熟度	事業の熟度（執行の環境）	用地買収不要 地元 PI を実施	3 A
計			8 A

※ A 評価（通常評価）：効率性、必要性、熟度の視点について、客観的指標等により評価するもの

※ S 評価（優先度評価）：既存計画等に位置付けられた「重要性の高い箇所」や、速やかに事業着手する必要がある「緊急性の高い箇所」を、優先度が高いと判断し評価するもの

事業名： 県単道路改築

路線名： 一般県道伊東川奈八幡野線（伊東市富戸）

1 事業概要

全体事業費：	C = 35百万円
計画期間：	令和2年度～令和3年度
計画概要：	道路拡幅工 L = 60m

2 目的・必要性

一般県道伊東川奈八幡野線は、伊東市街から川奈地区を経由し八幡野地区に至る一般県道であり、住民の生活道路に加えて観光路線として活用されている路線である。本路線は通学路であり東海バスの路線バスが通行するなど住民生活に密接に関わる路線であるが、本区間は現道幅員が4m程度と特に狭隘であり通行に支障をきたしている。

本事業は、狭隘な箇所を拡幅改良することにより円滑な交通の確保を行うとともに、広い路肩の確保を行い歩行者や自転車の安全な通行を確保するものである。

3 評価

視点	評価項目	評価指標	評価
必要性	災害に強く信頼性の高いみちづくり	—	—
	安全な生活を実現するみちづくり	政令で定める通学路（3号基準該当）	—
	多様な交流や経済活動を支えるみちづくり	—	—
	地域の生活と自立を支援するみちづくり	最小復員4m未満、バス路線	2A
	美しい景観と潤いある環境を確保するみちづくり	—	—
重要性	既存計画への位置付け	—	—
緊急性	速やかな事業着手の必要性	—	—
効率性	費用対効果・事業規模の妥当性	概ね5年以内に事業完了 前後区間が整備済み	2A
熟度	事業の熟度（執行の環境）	地権者からの同意あり 地元住民からの要望	3A
計			7A

※ A評価（通常評価）：効率性、必要性、熟度の視点について、客観的指標等により評価するもの

※ S評価（優先度評価）：既存計画等に位置付けられた「重要性の高い箇所」や、速やかに事業着手する必要がある「緊急性の高い箇所」を、優先度が高いと判断し評価するもの